

施策 1 医療機能の充実・強化

井田病院

取組項目	令和7年度の主な取組内容	取組目標名	R7年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R6年度実績値
取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化							
①救急医療（初期・二次）の強化	①救急受入体制の強化に向けた川崎病院との連携による救急医派遣 ②救急医をサポートする救急救命士の安定確保 ③救急患者受入専用病床の確保と効率的な運用						
②災害時医療機能の強化	①災害拠点病院として災害医療対応能力の更なる向上と全職員の役割発揮を図るための災害医療訓練の実施 ②各種訓練実施・参加（ブラインド型訓練含む） ③災害用備蓄品の計画的な入替えの実施・災害対策マニュアル及びBCPの改定 ④災害発生時の医療強化に向けたDMAT活動の充実 ⑤3日以上以上の備蓄品（食料、飲料水、医薬品）の確保と適切な補充・交換 ⑥屋上ヘリコプター離発着場を使用した患者搬送及び受入訓練の実施	院内災害医療対応訓練の実施	1回以上	0回	1回	100.0%	1回
取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充							
①手術医療の推進	①悪性腫瘍手術の積極的実施 ②消化器センター、プレストセンター、婦人科、腎・泌尿器センターによる質の高いがん医療の提供 ③悪性腫瘍に関わる地域連携クリティカルパスの整備	悪性腫瘍手術総件数	485件	276件	552件	113.8%	468件
		内視鏡下で施行した悪性腫瘍手術件数	140件	36件	72件	51.4%	77件
		手術支援ロボットで施行した悪性腫瘍手術件数	74件	39件	78件	105.4%	36件
②放射線治療・化学療法等の推進	①高度な検査・治療機器の効果的な活用と計画的な更新 ②化学療法センターの安定的な運営 ③放射線治療の安定的な運営 ④血液内科での川崎病院との連携	他医療機関からの放射線治療紹介患者数	150人	43人	86人	57.3%	98人
		化学療法延べ患者数	1,650人	710人	1,420人	86.1%	1,347人
		放射線治療延べ件数	455件	106件	212件	46.6%	271件

※原則R7.4月～9月(6か月間)の実績値を記載しております。  
※年度途中の算出が難しい項目は「－」としております。

取組項目		令和7年度の主な取組内容	取組目標名	R7年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R6年度実績値
③緩和ケア医療の充実		①緩和ケア患者の積極的受入れ ②医師との連携を強化した看護外来の実施 ③がん患者に対する在宅ケアの実施 ④地域の医療従事者を対象とした緩和ケア研修会、症例検討会の実施 ⑤緩和ケアに関する専門医の継続的な確保	専門外来（緩和ケア初診外来）患者数	330人	200人	400人	121.2%	294人
			緩和ケア患者受入数	690人	301人	602人	87.2%	649人
			がん看護外来の受入件数	310件	173件	346件	111.6%	281件
			がん患者に対する訪問診療患者数	175人	73人	146人	83.4%	140人
			緩和ケアに関する教育・研修会の開催回数	11回	2回	7回	63.6%	7回
④がん相談体制等の充実		①がん相談支援センターの運営 ②がんサロンの運営 ③がん相談員の育成 ④就労支援相談体制の確立 ⑤各種配布リーフレットの作成・配布	がん相談員基礎研修（1）（2）の受講人数	2人	4人	5人	250.0%	2人
			がん相談員基礎研修（3）の修了者在籍人数	2人	4人	4人	200.0%	2人
			がん相談件数（緩和相談を含む）	3,900件	1,274件	2,548件	65.3%	4,057件
			がんサロン開催回数	6回	5回	11回	183.3%	11回
			就労支援相談件数	40件	16件	32件	80.0%	49件
⑤がん検診の推進		①がん検診体制の強化 ②がん精密検診（CTによる肺がん検診、内視鏡による大腸がん検診）の実施	肺がん検診実施件数	2,250件	572件	1,144件	50.8%	1,826件
			大腸がん検診実施件数	2,043件	601件	1,202件	58.8%	1,696件
			胃がん検診実施件数	1,247件	338件	676件	54.2%	1,183件
			子宮がん検診実施件数	928件	228件	456件	49.1%	705件
			乳がん検診実施件数	1,316件	308件	616件	46.8%	1,060件
			前立腺がん検診実施件数	415件	136件	272件	65.5%	422件

※原則R7.4月～9月（6か月間）の実績値を記載しております。  
※年度途中の算出が難しい項目は「－」としております。

取組項目	令和7年度の主な取組内容	取組目標名	R7年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R6年度実績値
取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実							
①感染症医療の確保（結核、新興感染症）	①感染症を専門とする医師や認定看護師の安定的な確保 ②結核病棟の運営 ③新型コロナウイルス感染症をはじめとする新興感染症への対応	感染症専門医数	2人	2人	2人	100.0%	2人
		感染管理認定看護師の確保数	2人	3人	3人	150.0%	2人
②生活習慣病医療の充実	①糖尿病教育の充実 ②専門外来の設置・充実 ③リウマチ膠原病・痛風センターによるリウマチ性疾患に対する質の高い医療提供 ④透析センターの安定的な運営	糖尿病教育入院実患者数	43人	23人	46人	107.0%	40人
		リウマチ膠原病・痛風センターの紹介患者数	230人	102人	204人	88.7%	253人
		リウマチ膠原病・痛風センターの逆紹介患者数	420人	93人	186人	44.3%	217人
		透析延べ患者数	5,030人	1,921人	3,842人	76.4%	4,000人
③内視鏡治療の推進	①内視鏡治療センターの安定的な運用による質の高い高度な内視鏡診断・治療の提供 ②365日緊急内視鏡検査に対応できる体制の確立	緊急内視鏡検査実施件数	230件	121件	242件	105.2%	249件
		内視鏡治療実施件数	700件	619件	1,238件	176.9%	1,056件
④診療支援部門の専門職による取組の推進	①病棟における薬物療法の質の向上と医療安全確保（全病棟への薬剤師配置） ②リハビリテーション実施体制の強化 ③放射線診断機器、放射線治療機器の的確な運用 ④夜間・休日における緊急画像診断検査の実施 ⑤検査業務の的確な運用 ⑥臨床検査精度管理の実施 ⑦医療機器の運用及び保守点検 ⑧病状、病態に応じた的確な栄養指導の実施 ⑨臨床工学技士による医療機器の定期保守点検の実施	薬剤師配置病棟数	全10病棟	7病棟	8病棟	80.0%	7病棟
		薬剤管理指導料算定件数	7,500件	4,446件	8,892件	118.6%	8,567件
		疾患別リハビリテーションの算定単位数	41,800単位	22,497単位	44,994単位	107.6%	38,025単位
		疾患別栄養指導の算定件数	150件	134件	134件	89.3%	116件

※原則R7.4月～9月(6か月間)の実績値を記載しております。  
※年度途中の算出が難しい項目は「－」としております。

取組項目		令和7年度の主な取組内容	取組目標名	R7年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R6年度実績値
	⑤チーム医療の推進	①臓器別センター制（消化器センター、呼吸器センター、腎・泌尿器センター）の効果的な運営 ②緩和ケアチームによる症状の緩和・カウンセリング等、総合的な支援の実施 ③栄養サポートチーム（NST）による適切な栄養管理の実施 ④摂食嚥下支援チームによる専門的な摂食嚥下支援 ⑤褥瘡対策チームによる褥瘡（床ずれ）予防	緩和ケアチームによる症状緩和実施患者数	500人	174人	348人	69.6%	388人
			NSTラウンドの実施人数	610人	340人	680人	111.5%	643人
			摂食嚥下支援チームラウンドの実施延べ人数	360人	230人	460人	127.8%	485人
			褥瘡（推定）発生率	2.07%以下	1.50%	1.50%	138.0%	1.30%
	⑥専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者による取組の推進	①専門看護師、認定看護師及び特定行為研修修了者による看護の質の向上 ②専門看護師、認定看護師及び特定行為研修修了者の計画的な育成、支援 ③特定行為研修修了者による取組の推進 ④NP（Nurse Practitioner）の活用に向けた調査・研究	専門看護師・認定看護師の分野数	12分野	11分野	11分野	91.7%	12分野
			特定行為研修を修了した看護師の人数	6人	7人	7人	116.7%	5人
	取組項目(4) 医療安全の確保・拡充							
①医療安全対策の推進	①医療安全対策加算1に係る施設基準の維持（職員研修の実施、医療安全管理者の確保、各部門への支援と記録作成等） ②医療安全対策地域連携加算1に係る施設基準の維持（専任職員確保、年1回の相互ラウンド等） ③基礎的な医療安全対策の充実（院内委員会の開催等） ④医療安全に関する患者・家族からの相談への適切な対応	医療安全院内ラウンド実施回数	24回	11回	22回	91.7%	22回	
		医療安全管理者養成研修の参加人数	2人	3人	3人	150.0%	4人	
		医療安全にかかわる院内委員会の開催回数	24回	12回	24回	100.0%	24回	
		インシデントレポートの提出（報告件数）	1,800件以上	1,215件	2,430人	135.0%	2,237件	
②院内感染対策の推進	①感染対策に係る十分な経験を有する医師・看護師等の安定的な確保 ②感染制御チームによる活動の推進 ③感染防止対策加算1、抗菌薬適正使用支援加算の取得継続 ④感染症対策に関する院内研修	感染対策研修会4回、抗菌薬適正使用支援研修会2回以上（加算要件）の実施回数	計6回以上	5回	7回	116.7%	8回	
		「感染防止対策加算1＝1訪問相互ラウンド各1回、感染防止対策地域連携加算1－2連携カンファレンス4回」の実施回数	計6回以上	2回	6回	100.0%	6回	
		上記以外の職員研修実施回数	10回以上	7回	10回	100.0%	9回	

※原則R7.4月～9月(6か月間)の実績値を記載しております。  
※年度途中の算出が難しい項目は「－」としております。



取組項目	令和7年度の主な取組内容	取組目標名	R7年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R6年度実績値
取組内容の状況と分析、今後の方向性							
<p>【取組内容の状況と分析】</p> <p>【取組項目（1）救急・災害医療機能の強化】</p> <p>①救急搬送受入数については、令和7年7月に今年度新たに採用となった専攻医（15名）との個別面談を実施し、応需できない要因を探るほか、病院のサポート体制や救急医療支援PJの取組を伝えるなど対策を行いました。要請数の減少等もあり目標値の達成は厳しい状況です。 （R7年間想定：2,868人 目標：3,200人）</p> <p>②11月29日に災害時医療訓練を実施する予定です。また、今年度は、災害時医療等委員会の下部組織であるDMAT部会を中心に、災害時医療研修を企画し、毎月、全職員を対象に様々な研修を実施しています。</p> <p>【取組項目（2）がん診療機能の強化・拡充】</p> <p>①悪性腫瘍手術件数については、外科の体制強化に伴う手術件数増加等により目標値を達成する見込みです。（R7年間想定：552件 目標：485件）</p> <p>②放射線治療延べ件数については、川崎病院放射線治療科の体制の影響もあり、目標値の達成は厳しい状況ですが、地域がん診療連携拠点病院の要件である年間200件以上を達成する見込みです。（R7年間想定：212件 目標：455件）</p> <p>③緩和ケア患者受入数については、病床稼働率が高くベッドの空き待ちが発生したことなどにより、目標値の達成は厳しい状況です。 （R7年間想定：602人 目標：690人）</p> <p>④がん相談件数については、昨年度の2名専任体制から1名兼務・1名専任体制となったことなどにより、目標値の達成は厳しい状況です。 （R7年間想定：2,548件 目標：3,900件）</p> <p>⑤がん検診実施件数については、前立腺がん検診を除く5種類の検診で目標値の達成は厳しい状況です。 （肺がん R7年間想定：1,144件 目標：2,250件）（大腸がん R7年間想定：1,202件 目標：2,043件） （胃がん R7年間想定：676件 目標：1,247件）（子宮がん R7年間想定：456件 目標：928件） （乳がん R7年間想定：616件 目標：1,316件）（前立腺がん R7年間想定：272件 目標：142件）</p> <p>【取組項目（3）高度・専門医療の確保・充実】</p> <p>③緊急内視鏡検査実施件数については、消化器内科の体制強化により目標値を達成する見込みです。（R7年間想定：242件 目標：230件）</p> <p>④疾患別リハビリテーションの算定単位数については、リハビリ療法士増員により目標値を達成する見込みです。 （R7年間想定：44,994単位 目標：41,800単位）</p> <p>⑤NSTラウンドの実施人数及び摂食嚥下支援チームラウンドの実施延べ人数については、目標値を達成する見込みです。 （NST R7年間想定：680人 目標：610人）（摂食嚥下 R7年間想定：460人 目標：360人）</p>							
<p>【今後の方向性】</p> <p>【取組項目（1）救急・災害医療機能の強化】</p> <p>①応需率は改善傾向にあるので、例年、救急要請数が増える冬期に向け、引き続き、各種取組を継続するとともに、救急機能の強化に取り組みます。</p> <p>②12月頃に川崎市内病院間連携訓練への参加を予定しており、引き続き、他の災害拠点病院・災害協力病院等と連携、協力して医療を提供する役割を担ってまいります。</p> <p>【取組項目（2）がん診療機能の強化・拡充】</p> <p>①引き続き、手術支援ロボットによる実施を含む悪性腫瘍手術件数の増加に取り組めます。</p> <p>③④引き続き、がん相談から初診外来、患者の受入れまでニーズに対応できるよう体制の維持に取り組めます。</p> <p>⑤がん検診のほか、人間ドック、そこだけドック等各種健診受診の広報に努め、受診者増加に取り組めます。</p> <p>【取組項目（3）高度専門医療の確保・充実】</p> <p>③引き続き、24時間365日緊急内視鏡の要請に応える体制を維持し、検査実施件数の増加に取り組めます。</p> <p>④引き続き、リハビリ療法士の確保に努めながら、疾患別リハビリテーション算定単位数の増加に取り組めます。</p> <p>⑤引き続き、多職種連携によるチーム医療の推進に取り組めます。</p>							

※原則R7.4月～9月(6か月間)の実績値を記載しております。  
※年度途中の算出が難しい項目は「－」としております。

施策2 地域完結型医療の推進

井田病院

取組項目	令和7年度の主な取組内容	取組目標名	R7年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R6年度実績値
取組項目 医療機能の分化・連携と地域包括ケアシステムの推進							
①地域医療連携の推進	①紹介率、逆紹介率の向上のための紹介方法の整備 ②かかりつけ医受診の啓発 ③連携登録医との交流 ④連携登録医専用回線「つながつながるホットライン」の活用 ⑤地域医療従事者等との研修会、症例検討会の充実 ⑥地域医療機関と連携した医療機器共同利用体制の整備 ⑦外来診療密度のモニタリング ⑧患者の受療状況データの分析・活用による戦略的な医療機関訪問	かかりつけ医紹介相談件数	200件	103件	206件	103.0%	203件
		地域医療従事者等との研修会、症例検討会の開催回数	22回	7回	14回	63.6%	20回
		つながつながるホットライン件数	180件	94件	188件	104.4%	202件
②地域包括ケア病棟の安定的な運営	①在宅復帰率、認知症等の患者の割合に係る診療報酬上での基準の達成 ②病床利用率の向上	在宅復帰率	75.0%以上	81.6%	81.6%	108.8%	76.5%
		地域包括ケア病棟における認知症等の患者の割合	35.0%以上	48.3%	48.3%	138.0%	38.3%
		自宅等からの入棟率	45.0%	43.8%	43.8%	97.3%	42.0%
③在宅療養後方支援体制の強化	①在宅療養後方支援病院としての積極的な広報活動 ②在宅療養後方支援新規登録患者の確保 ③在宅療養後方支援新規登録患者の病状悪化など緊急時の受入体制の充実 ④在宅療養を担う診療所との情報交換・顔の見える関係づくり	在宅療養後方支援登録患者の緊急受入患者数	85人	80人	160人	188.2%	125人
取組内容の状況と分析、今後の方向性							
【取組内容の状況と分析】 【取組項目 医療機能の分化・連携と地域包括ケアシステムの推進】 ①つながつながるホットラインについては、制度が認知されるようになり、今年度に入りこれまで依頼のなかった連携登録医からの依頼が増えるなど目標値を達成する見込みです。（R7年間想定：188件 目標：180件） ②地域包括ケア病棟における在宅復帰率については、目標値を達成する見込みです。（R7年間想定：81.6% 目標：75.0%以上）また、自宅等からの入棟率については、目標値の達成は厳しい状況ですが、施設基準で定める20%以上はクリアしています。（R7年間想定：43.8% 目標：45.0%） ③在宅療養後方支援登録患者の緊急入院患者数については、目標値を達成する見込みです。（R7年間想定：160人 目標：85人）							
【今後の方向性】 【取組項目 医療機能の分化・連携と地域包括ケアシステムの推進】 ①つながつながるホットラインについては、引き続き、制度周知に努めながら、連携登録医からの依頼に応えるよう取り組みます。 ②地域包括ケア病棟の安定的な運営については、医療機関のほか、介護施設等との連携推進に努めながら、病床利用率の向上と地域包括ケアシステムの推進に取り組みます。 ③引き続き、在宅療養後方支援病院登録患者数を増やすため、開業医等との情報共有や顔の見える関係づくりに取り組みます。							

※原則R7.4月～9月(6か月間)の実績値を記載しております。  
※年度途中の算出が難しい項目は「－」としております。

施策3 効果的・効率的な運営体制づくり

井田病院

取組項目	令和7年度の主な取組内容	取組目標名	R7年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R6年度実績値
取組項目(1) 人材の確保・育成の推進							
①医療従事者の安定的な確保	①急性期病院としての医療提供に必要な医師・看護師・医療技術職の確保 ②医療事務職（病院局独自採用事務職員）の活用やDPC制度運用講座の開催による診療報酬請求事務の強化及び専門能力の向上 ③初期臨床研修医の確保 ④医学生向け病院見学会、インターンシップの実施 ⑤看護師確保のための病院見学会、インターンシップの実施	医学生向け病院見学会の実施回数	75回	32回	64回	85.3%	54回
		看護学生向け病院見学会の実施回数	8回	4回	7回	87.5%	10回
		看護学校学生実習受入人数	420人	162人	324人	77.1%	302人
②職員の専門能力の向上	①専門看護師、認定看護師、特定行為研修修了看護師の計画的な育成・支援・活用 ②臨床研修指導医講習会受講の奨励 ③専門看護師、認定看護師、特定行為研修修了看護師及び専門領域におけるリンクナースの育成の推進 ④事務職員の専門能力向上（診療報酬、情報セキュリティ、地域医療連携、経営企画力など）	看護研究発表会報告演題件数	45件	-	-	-	42件
		診療報酬関連研修会実施回数	2回	1回	2回	100.0%	2回
		診療科DPC勉強会開催回数	4回	2回	4回	100.0%	4回
取組項目(2) 働き方・仕事の進め方改革の推進							
①働きやすい職場づくり	①医師事務作業補助者の確保・充実 ②正規職員の退職や産休育休等に伴う欠員の会計年度任用職員による補充 ③有給休暇の取得促進 ④子育て支援制度の周知徹底、利用促進 ⑤新規採用者や異動者に対するフォロー ⑥紙の電子化による作業効率の改善	仕事と私生活のバランスが取れていると思う人の割合（思う＋やや思うの合計）	48.0%	59.7%	59.7%	124.4%	59.0%
②多様な働き方の推進	①特定行為研修を修了した看護師の活用 ②段階的な全病棟への薬剤師の配置 ③看護助手、医師事務作業補助者の活用 ④委員会開催やメンバー選定の定期的な見直しと午後5時以降の会議開催の削減 ⑤産育休を活用する職員に対する復帰後を見据えた丁寧な説明	医師事務作業補助者人数（常勤換算）	25人	21人	21人	84.0%	20人
		看護助手人数（常勤換算）	50人	32人	33人	66.0%	33人
取組内容の状況と分析、今後の方向性							
<p>【取組内容の状況と分析】</p> <p>【取組項目（1）人材の確保・育成の推進】</p> <p>・医学生向け病院見学会の実施回数については、目標値の達成は厳しい状況ですが、学生の希望と対応する医師の負担軽減のバランスを取りながら受入れを行っており、首都圏の大学に偏ることなく、地方の各大学からの希望者も多い状況となっています。（R7年間想定：64回 目標：75回）</p> <p>・看護学校学生実習受入人数については、依頼学校数は減少していないが、入学者数・実習対象者数減少・実習対応可能な教員数減少などにより、1校あたりの依頼学生数が減少しており、目標値の達成は厳しい状況です。（R7年間想定：324人 目標：420人）</p> <p>【取組項目（2）働き方・仕事の進め方改革の推進】</p> <p>・仕事と私生活のバランスが取れていると思う人の割合については、目標値を達成する見込みです。（R7年間想定：59.7% 目標：48.0%）</p> <p>・医師事務作業補助者人数（常勤換算）については、目標値の達成は厳しい状況です。（R7年間想定：21人 目標：25人）</p>							
<p>【今後の方向性】</p> <p>【取組項目（1）人材の確保・育成の推進】</p> <p>・医学生向け病院見学会の実施回数については、初期臨床研修医の採用選考において、当院を第一希望とする学生数が増えていることから、引き続き、人材確保につながるよう取り組みます。</p> <p>・看護学校学生実習受入人数については、医師同様、人材確保につながるよう取り組みます。</p> <p>【取組項目（2）働き方・仕事の進め方改革の推進】</p> <p>・引き続き、働きやすい職場づくりに取り組みます。</p> <p>・医師事務作業補助者人数については、第1ステップとして、一つ上の体制加算（15対1）の取得を目指して、人材確保に取り組みます。</p>							

※原則R7.4月～9月(6か月間)の実績値を記載しております。  
※年度途中の算出が難しい項目は「－」としております。



施策4 患者に優しい病院づくり

井田病院

取組項目	令和7年度の主な取組内容	取組目標名	R7年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R6年度実績値
取組項目 患者サービスの向上							
①積極的な情報発信の推進	①クリニカル・インディケーター（臨床指標）の公表 ②SNS活用の推進 ③ホームページを活用した情報提供 ④広報誌の活用 ⑤広報委員会での多職種による適切な情報提供の検討 ⑥外国人患者への適切な情報提供の実施	SNSのフォロワー人数	350人	354人	360人	102.9%	348人
		市民公開講座開催回数	12回	12回	24回	200.0%	14回
		地域のボランティアを交えた院内コンサートの実施回数	6回	1回	3回	50.0%	4回
②相談体制の強化	①病院モニター会議の開催 ②投書部会、患者サポート会議の開催 ③がん患者相談及び入院時介入（初診面談）の充実 ④外来患者満足度調査の実施 ⑤入院患者満足度調査の実施 ⑥待ち時間調査の実施 ⑦がん相談支援センターブースの整備 ⑧各種配布リーフレット等の作成・配布	モニター会議開催回数	1回	0回	1回	100.0%	2回
		アドボカシー相談員数	2人	3人	3人	150.0%	3人
		専門外来緩和ケア内科受入（緩和相談）延べ件数	3,400件	1,004件	2,008件	59.1%	3,285件
取組内容の状況と分析、今後の方向性							
<div>【取組内容の状況と分析】</div> <div>【取組項目 患者サービスの向上】</div> <div>・市民公開講座開催回数については、地域からの依頼による出前講座の回数が増えたことにより、目標値を達成する見込みです。（R7年間想定：24回 目標：12回）</div> <div>・アドボカシー相談員数について、3人体制を維持し、目標値を達成する見込みです。（R7年間想定：3人 目標：2人）</div>							
<div>【今後の方向性】</div> <div>【取組項目 患者サービスの向上】</div> <div>・引き続き、積極的な情報発信、相談体制の強化により患者サービスの向上に取り組めます。</div> <div>・引き続き、アドボカシー相談員による入院時重症患者メディエーター（専任）の配置、重症患者初期支援充実加算の再取得を目指し取り組みます。</div>							

※原則R7.4月～9月(6か月間)の実績値を記載しております。  
※年度途中の算出が難しい項目は「－」としております。



施策5 地域・社会への貢献

井田病院

取組項目	令和7年度の主な取組内容	取組目標名	R7年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R6年度実績値
取組項目 地域・社会への貢献							
①医療職の育成	①医師臨床研修の実施 ②他院からの臨床研修医の受入れ ③専門研修プログラムの実施 ④院外医療機関医療従事者を対象とした症例検討会の開催 ⑤医療・福祉施設等に向け出前講座の実施	地域医療従事者等との研修会、症例検討会の開催回数（再掲）	22回	7回	14回	63.6%	20回
②医療系学生の教育支援	①大学医学部学生の実習受入 ②看護学校学生の実習受入 ③大学薬学部学生の実習受入	大学医学部学生実習受入人数	25人	18人	25人	100.0%	23人
		看護学校学生実習受入人数（再掲）	420人	162人	324人	77.1%	302人
		大学薬学部学生実習受入人数	4人	4人	4人	100.0%	4人
③研究活動と学会発表、論文発表、治験参画	①研究活動（学会発表、論文発表）への支援 ②治験参画の推進 ③産学官連携臨床研究への協力	学会発表件数	41件	-	-	-	26件
		論文発表件数	10件	-	-	-	8件
④市民に対する医学知識の普及啓発	①市民公開講座の実施 ②医療・福祉施設等の出前講座の実施 ③健康の保持増進予防のための検診事業の充実 ④子どもに向けた医学セミナーの開催	市民公開講座開催回数（再掲）	12回	12回	24回	200.0%	14回
⑤環境を意識した病院運営	①本館、別館のLED照明の導入 ②空調用冷温水二次ポンプ自動制御システムの導入 ③ボイラーの台数制御運転の実施（ボイラー全4台稼働のうち1台のみの運用稼働を目標） ④太陽光パネルの運用 ⑤脱炭素に係る取組の更なる推進	空調用冷温水二次ポンプ自動制御システムの導入	運用	導入準備	導入準備	-	導入準備
		ボイラーの台数制御運転	1台運転	1台運転（可能な限り）	1台運転（可能な限り）	-	1台運転
取組内容の状況と分析、今後の方向性							
【取組内容の状況と分析】 【取組項目 地域・社会への貢献】 ・大学医学部学生実習受入人数及び大学薬学部学生実習受入人数については、ともに目標値を達成する見込みです。 （医学部生 R7年間想定：25人 目標：25人）（薬学部生 R7年間想定：4人 目標：4人） ・ボイラーの台数制御運転については、昨今の気温上昇等により可能な限り1台運転とせざるを得ないため、目標の達成は厳しい状況です。							
【今後の方向性】 【取組項目 地域・社会への貢献】 ・引き続き、地域・社会への貢献を意識した病院運営に取り組みます。							

※原則R7.4月～9月(6か月間)の実績値を記載しております。  
※年度途中の算出が難しい項目は「－」としております。

施策6 強い経営体質への転換

井田病院

取組項目	令和7年度の主な取組内容	取組目標名	R7年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R6年度実績値
取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進							
○収入確保に向けた取組の推進	①一般床、地域包括、緩和、救急後方病床の特性に応じた病床稼働率の向上と、適切なベッドコントロールの実施 ②精度の高い診療報酬請求 ③弁護士を活用した滞納債権回収及び未収金催告・督促の適正な実施 ④収入確保を目的とした様々なプロジェクトの実施 ⑤施設基準管理システムの導入	レセプト査定率	0.18%以下	0.18%	0.18%	100.0%	0.15%
		未収金催告・督促件数	700件	355	710	101.4%	766件
		個室病床（差額室料設定病室）の稼働率	65.0%	54%	54%	83.1%	57.2%
取組項目(2) 経費節減・抑制の強化							
①経費節減・抑制に向けた取組の推進	①委託業務の仕様の精査・見直し ②川崎病院との材料購入に関する情報交換・共同購入による経費節減の実施 ③無駄な在庫を持たない効率的な在庫管理による経費節減の実施 ④外部医師の報酬費の見直し ⑤物品共用プロジェクトの推進						
②適正な医療機器整備の推進	①必要性、収益性を吟味した購入審査 ②価格低減に向けた調整の実施 ③計画的な高額医療機器の取得、更新						
取組項目(3) 経営管理体制の強化							
○経営管理体制の強化に向けた取組の推進	①経営会議による本計画の進捗及び稼働状況の管理の実施 ②病院幹部会議における病院経営状況等の報告、分析、評価及び改善 ③診療科等に対する経営に関するヒアリングの実施 ④新任・局間異動者研修会の開催 ⑤幹部研修会の開催等による職員の病院経営意識の醸成 ⑥原価計算システムの導入と現場へのフィードバック	病院幹部会議における病院経営状況等の年間報告回数	12回	6回	12回	100.0%	12回
		診療科等ヒアリングの年間実施回数	2回	0回	2回	100.0%	2回
		病院経営戦略会議の開催回数	18回	9回	18回	100.0%	15回
取組項目(4) 施設・設備の適正管理							
①施設・設備の適正管理	①空調機の段階的なオーバーホールの実施 ②空調設備の故障回数の削減 ③電気、医療ガスなど設備の定期点検	空調設備のオーバーホールの実施	3設備	完了	実施済み	-	3設備
		電気設備点検の実施	1回	0回	1回	100.0%	1回
		医療ガス設備の年次点検の実施	4回	2回	4回	100.0%	4回
②医療DX及び医療情報セキュリティの強化	①マイナンバーカードによるオンライン資格確認を活用した診療情報連携によるサービスの効率化 ②医療情報システムの安全管理に関するガイドラインの順守 ③新たな情報技術を活用した医療DXに向けた取組の推進	RPAシステム導入	運用	運用	運用	-	導入
		医療情報システム安全管理部会の実施	1回以上	4回	10回	1000.0%	10回
		システム障害対応訓練の実施	1回以上	0回	1回	100.0%	1回

※原則R7.4月～9月(6か月間)の実績値を記載しております。  
※年度途中の算出が難しい項目は「-」としております。

取組項目	令和7年度の主な取組内容	取組目標名	R7年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R6年度実績値
取組内容の状況と分析、今後の方向性							
<p>【取組内容の状況と分析】</p> <p>【取組項目（1）収入確保に向けた取組の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>急性期一般入院料1への復帰に向けた各種取組や検討を行い、前年度上半期の各月の重症度、医療・看護必要度については、特に高い基準を満たす患者の割合を示す基準①の20%以上に届かないものの、前年度上半期（各月）の必要度をいずれも上回っており、着実に効果が出ています。 （R6.5：16.6% → R7.5：19.8%、R6.6：18.3% → 20.0%、R6.7：16.7% → R7.7：18.5%、R6.8：15.6% → R7.8：19.0% R6.9：16.1% → R7.9：18.1%）</li><li>令和6年診療報酬改定により新設された地域包括医療病棟転換への検討として、既に転換された他病院へ訪問ヒアリングを行い、モニタリング方法等の確認を行いました。</li></ul> <p>【取組項目（3）経営管理体制の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>病院経営状況等の年間報告回数については、毎月、診療稼働状況のほか、救急患者受入状況、紹介・逆紹介の状況、手術件数等とともに取組状況の情報共有等を行い、目標値を達成する見込です。（R7年間想定：12回 目標：12回）</li></ul> <p>【取組項目（4）施設・設備の適正管理】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>マイナ保険証利用率については、セルフコーナー設置等これまでの各種取組により、令和7年8月時点で53%となっていますが、医療DX推進体制整備加算1に係るマイナ保険証利用率の基準が令和7年10月及び令和8年3月の改定により、45%→60%→70%に引き上げられるため、加算1の取得は厳しい状況です。（参考 R6.8：22%）</li><li>医療情報システム安全管理部会の実施については、原則毎月開催し、厚生労働省ガイドラインで定められている項目について、検討・対応を行っています。（R7年間想定：10回 目標：1回以上）</li></ul>							
<p>【今後の方向性】</p> <p>【取組項目（1）収入確保に向けた取組の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>引き続き、収益向上PJ等の各種取組を行うとともに、令和8年診療報酬改定に係る情報収集に努めながら、急性期一般入院料1への復帰、地域包括医療病棟転換の検討に取り組みます。</li></ul> <p>【取組項目（3）経営管理体制の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>引き続き、各種PJにより課題や取組等を検討し、定期的に経営戦略会議において報告、方向性の確認を行いながら進めます。</li><li>引き続き、施設基準管理システムを活用し、業務の効率化・可視化・汎用化を図るとともに、診療報酬の増収と返還リスク軽減に取り組みます。</li></ul> <p>【取組項目（4）施設・設備の適正管理】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>引き続き、各種設備点検を実施するなど、施設・設備の適正管理に取り組みます。</li><li>事務部門から導入しましたRPAについては、令和7年10月から新たに利用開始となったOfficeソフトとの互換性の確認、また、Officeソフトに含まれるAIツールの利便性等を比較検討しながら、更なる業務効率化に取り組みます。</li><li>引き続き、医療情報セキュリティ強化として、BCPに基づく訓練や研修会等、厚生労働省のガイドラインで求められる対応に取り組みます。</li></ul>							

※原則R7.4月～9月(6か月間)の実績値を記載しております。  
※年度途中の算出が難しい項目は「－」としております。